

# 蒼天

Volume 13  
2014.07.

京都造形芸術大学・京都芸術短期大学 瓜生山同窓会会報  
編集・発行：瓜生山同窓会事務局 〒606・8271 京都市左京区北白川瓜生山2・116  
<http://uridou.jp>

## 同窓会員の皆さまへ

瓜生山同窓会 顧問 目良 義夫

会員各位の皆様、お元気でいらっしゃいますでしょうか。平素は当瓜生山同窓会の活動にご理解ご協力を賜り誠に有難うございます。お陰さまで当同窓会も発足して12年が経過致し今年より13年目に入りました。

我が同窓会は、短大・大学・通信を合わせた同窓会組織です。およそこれまでに無かった多民族国家の様なと言えば大袈裟ではありますが、見たこともない老若男女がひとつ屋根の下の大家族になりました故、これまでに無かった同窓会活動を展開しなくてはいけないのではという使命感にもかられて、無い知恵を無理からにひねり絞り出しながらもこの12年間の運営が出来ました事は、ひとえに会員諸氏の皆様のお支えがあつてこそと感謝し、役員スタッフ一同、心より御礼を申し上げます。

さてこれまでの事業を振り返りますと、京都での開催のみならず、北海道・東京・静岡・中部・広島・九州と、全国の支部各地で先生方による講演会やワークショップ、離島や史跡の見学会等も合わせての「学び」と「旧交を温める」懇親会の開催をしてみました。

個人的には、一昨年の本部事業でも総会後に宇治の平等院を見学、本会会員の学芸員さんにも解説のご協力頂き改修工事前の状態を見たのも貴重な体験になりました。(地盤高さの変化から、地面に近い高さで池越しに見上げると当時の都人の視線になれるそうですよ) また特に心に残っている風景と言えば北海道・利尻島のあの波の激しさと美しさ! 東京湾屋形船での懇親会の風情は、海も水も魚も大っ嫌いな私でさえも何回行っても飽きません! 是非一度ご参加頂ければ「嘘じゃない!」事がわかっていただけると思っています。

しかしながら、これまでの事業が全てが成功したとは正直言えません。手前どもの不手際で中止した事業も御座いました。少人数での開催も度々ありました。ですが、お忙しい中で時間をこじ開けてご参加頂いた会員の方々が喜んで帰って頂け、心と大学と同窓の友の事を思っ頂ける時間が作れる事を喜びとしながら、今後も模索は続きますが一步一歩と前に進んでまいりたいと思います。

とにもかくにも12年。人間で言えばまだまだまだわんぱく盛り of 生意気な中学生といったところでしょいか、夢も希望も一杯あれど、何から手をつけたらいいのわからない純粋さだけが取り柄な……その子供の様な純粋な想いを保ちながらも、しっかり大人を取り組みをしまっている所存であります。今後共「瓜同」をどうぞ宜しくお願致します。

最後になりましたが、会の運営に携わって頂いている大学の事務局、各支部の支部長をはじめ影で支えて頂いている全ての皆様がこの場をお借りして心より御礼を申し上げます。

師弟席  
RESERVED

見開き対談  
水野哲雄 先生を  
訪ねる



# 師弟席

## RESERVED

# 見開き対談 水野哲雄先生を訪ねる

水野哲雄  
京都造形芸術大学 芸術学部  
こども芸術学科 名誉教授

宮崎みずほ  
京都造形芸術大学 芸術学部  
こども芸術学科 こども芸術コース卒

森 梨絵  
京都造形芸術大学 瓜生山同窓会 庶務  
芸術学部 こども芸術学科 こども芸術コース卒

同窓会役員が師匠を訪ねます。

第二回はこども芸術学科卒業生の二人が

水野先生の自宅に突撃訪問しました。

◆宮崎 ここであつてるかな？

◆森 ここだよな？(インターホン、ピンポン)

◆水野 (ドア、ガチャ) おつ、いらっしやい。

◆森 今日はお願ひします。お邪魔します。

◆水野 アトリエ！ いいですねー。

◆宮崎 大きな窓が素敵！ 眺めがいいですね。

◆水野 そうなんです。窓が大きいのが気に入って、ここに決めたんだ。ほら、山も見えて、きれいでしょ？

◆宮崎 うわ、本当に綺麗！

◆水野 さて、お茶いれましょうか？ いや、ビールがいいかな？ 飲むよな？

◆宮崎 あはは、飲みましょ。先生どうぞ(ビールをつぐ)

◆森 (ビールをお互いにつぎ合う)有難うございます。

◆水野 さあ、うん、森さんこれで何喋ったらいいの？

◆森 ご自由にお話しして頂いて大丈夫です。第一回目にお話しして頂いた柴田先生も、かなり自由にお話されていたそうです。こちらが編集します。

◆宮崎 どうしよう？(笑)

◆水野 最近どうなの？ 頑張ってる？ ホスピタル

◆宮崎 アートとか、学生の頃から頑張ってたよな？

◆水野 はい、そう……頑張って、頑張って疲れて、無理して病んでました。一時期(笑)

◆宮崎 はは、頑張りましたの？

◆水野 おかしいな、私って本当に患者さんと何かしたいというか。なんか何かちよつとでもこの役に立てたらいいなってという単純な思いで始

めたはずがなんか。

◆水野 ややこしくなつて？

◆宮崎 もうホスピタルアートのことも、もう聞きたくなくなつてちよつと一時期。あ

あもうやめてやめてみたいな。でもそれってちよつとおかしい

な、あれ？つてなりました。これって組織につぶされてるのかなつてちよつと思つたり。

◆水野 そうだよな。うん。やっぱり患者さんと、その関わる人と楽しい気持ちになつたり(笑) 顔が一番大事だし。うん。

◆宮崎 やつぱりそういう気持ちで、こつ忘れたくないというか。学生のころから整骨院でバイトして

いたんですけれど、私、それから一回そういうのがなくなつた時に、なんか今の組織との関わりだけじゃ、自分そういうのなくなつちゃうなと思つて、で、この2年間は三重と京都を隔週で行き来して。

◆水野 実家の会社で、相談しながらやつてました。

◆宮崎 少し前にそういつたホスピタルアート関係のプロジェクトがあつてね。

◆水野 あ、わたし誘つてもらつたけど行けなくて。

◆宮崎 ホスピタルアートは元々はもちろん病院とかか病むというね。人はもちろん怪我したり病気になるつたりするからね。それをまあ治療という側面と、(ノートに書いて)これはキアアというんだね、ケアっていう治療ではないけど気持ちのケア。それはアフターであつたり病気が長

いたのケアであつたりとか、今最近いわれて

いるのが終末ケアつてやつたね。もう治療できない、もしくは治療できても患者を苦しめるだけだからもうそんないわつていう人や、家族にむけたケアだね。そのケアとキアの関係の中で

◆宮崎 なんだろな、アートとはハートだからさ。いつてみればね。ハート(ノートにつづりをかいて)アト

トは芯みたくにあるわけだからね。

◆水野 そこでアートのなにかできる

◆宮崎 じゃないか。アートの可能性

◆水野 やつぱり大きかつたですね。で、

◆宮崎 今ホスピタリティがアートつ

ていつたときは、病院だけじゃ

◆水野 なくてもつと広げようよつてい

◆宮崎 うお医者さんにかからなく

◆水野 は怪我や病気になる予備軍つてい

◆宮崎 ばいばい。しかもみんない

◆水野 は死ぬことはわかつてるから、

◆宮崎 なんか今の組織との関わり

◆水野 いうホスピタル的なことを考

◆宮崎 えてなんらつかのそ

◆水野 ういうホスピタル的なことを考

◆宮崎 えてなんらつかのそ



なんだろな、アートとはハートだからさ。いつてみればね。ハート(ノートにつづりをかいて)アト

トは芯みたくにあるわけだからね。

◆水野 そこでアートのなにかできる

◆宮崎 じゃないか。アートの可能性

◆水野 やつぱり大きかつたですね。で、

◆宮崎 今ホスピタリティがアートつ

ていつたときは、病院だけじゃ

◆水野 なくてもつと広げようよつてい

◆宮崎 うお医者さんにかからなく

◆水野 は怪我や病気になる予備軍つてい

◆宮崎 ばいばい。しかもみんない

◆水野 は死ぬことはわかつてるから、

◆宮崎 なんか今の組織との関わり

◆水野 いうホスピタル的なことを考

◆宮崎 えてなんらつかのそ

◆水野 ういうホスピタル的なことを考

◆宮崎 えてなんらつかのそ

いうふうには、思つてまして。最近なんかこう研究を進めるなかで、友達でそういう映像を作る子がいるので、映像をちよつと一緒に作つてみようかつていうのと、あとは生け花。

◆水野 ほう、生け花？

◆宮崎 つていう、ちよつと二つ柱を立てているんですよ。

◆水野 映像と生け花？

◆宮崎 映像と生け花？

◆水野 全然違うんですけど。(笑)

◆宮崎 いやいや、へえ、おもしろいよ。

◆水野 私は学校もあるし、実際に作るのには、ちよつと生け花のほうを考えているんですけど。

◆宮崎 ほう、こうなつたら面白いかもしれない。だつ

◆水野 てね……映像つてイメージなんか。

◆宮崎 はい、はい。

◆水野 で、像だから、掴もうと思つても掴めへんわね。

◆宮崎 そうなんです。

◆水野 すつと消えていくというか、時間と共に流れていくしね。生け花は生きてるわけでしょう？

◆宮崎 はい。

◆水野 時間と共に萎れていつたりはするけど、まあ、

◆宮崎 生ものだもんね。

◆水野 はい。

◆宮崎 ものとしてね、あるよな。映像と生け花つて、

◆水野 虚と実みたいな関係もあるしね。

◆森 ああ、なるほど。なるほど……ですね……。

◆水野 映像と生け花(腕を組んで考える)

◆宮崎 実際にこう、病院に行つていて、なんだろな、

◆水野 入り込みやすいという可能性があるなと感じ

◆宮崎 たんです。衛生面とかいろいろ考えて可能性が

◆水野 すくあるなつて思つているのは映像のほうな

◆宮崎 んですよな。

◆水野 映像は確かにね、そういう意味では、こう、無

◆宮崎 菌的なところか。

◆水野 はい。迷惑もかからないというか。

◆宮崎 生け花はちよつとあれかもしれないね。

◆水野 そうなんです。いますごくこう、病院の中から

◆宮崎 お花無くなつてきてるじゃないですか、やつぱり

◆水野 なるほど。

◆宮崎 管理する人がいないから、そのバクテリアが、

こう、発生しちゃったりとかするから。

水野

なるほど。

宮崎

駄目ってところが結構、増えていて。でも、それでも病院の中には花屋さんがいるところも、まだまだあるけど。

水野

だってね、切り花は贈るかな？ ああいう植木ものは。

宮崎

贈るのは駄目ですね。

水野

駄目っていうよね、居つくからみたいな。

宮崎

そうそう。

水野

ふーん。

宮崎

やりたいなど思っているんですけども、ちょっと生け花っていうのは、このあいだちょっと、結婚したんですけれど。

水野

はい。誰が？

宮崎

私が。

水野

あつ、結婚したの？

宮崎

結婚したの(笑)

水野

なんや、もっと早う言わんかい。おめでどうございませぬ、知らんかった。

森

あれ？ 言ってなかったの？ そうですよ。ミヤザキさんじゃないんですよ、もう。

水野

なに？

宮崎

岸になったんです。

水野

はい。

宮崎

岸って、どういう岸の字？

水野

本当にあの、山に。

宮崎

ああ、この岸、岸さん？

水野

はい。

宮崎

へー、そうなんや。

水野

いや、私壁に打ち当たってたから、職場の人に嫌な反応されたけど。

宮崎

え？ なんで？

水野

なんか道半ばで「なに結婚しちゃってるの」って言われちゃって。

宮崎

ええ、嘘やろ？ 結婚したほうがええに決まってるやん。結婚はもうできるときっていうか、しないって駄目よ、パツと。

水野

と、思っ

宮崎

決断とか、飛べだから。そういうことを逡巡している、もうできなくなるから。

水野

そうですね。

宮崎

もう結婚なんて衝動的にやるものですよ。これでいいみたいな。

水野

そうですね。

宮崎

ね、作っていくものだから、二人で、二人で、こう刺激しあって。みんないい人いい人って思うやんか。そんなん思ってるうちにね、駄目よ、

時期を失うから。失うぞ！(森を見て)

森

えー。あれ？ 私ですか？(笑)

水野

いやいや本当に。まあ、それなりにね、出会いって偶然性も強いし、そのなかでやっぱり心ときめくというか「ああ、この人だったら」みたいなね。ちょっとでも思えるのであれば全然したほうがいいですよ。

宮崎

そんなの、初めて言っていたいで。嬉しい。

水野

ほんま。だって人はそういうふうにできてから、男と女っていうのは。

森

めずらしいね。でも、そんな職場で、そんな道半ばで結婚するなんてって止められるというか、なんか。

宮崎

すごーいリスクがあるって言われて。

水野

なんのリスクやろう？

宮崎

この先ちょっと、まあ、いろいろ立て込むだろうなって。

水野

まあ、大変だとは思っけど二人だったらなんとかなるよ。

宮崎

そうなんです。

水野

岸さんは京都なの？

宮崎

京都の人です。

水野

ふーん。いや、結婚はするべきですよ。したほうがいい!!

宮崎

どこで出会った？ みたいなね。

水野

学生の時から。

宮崎

はい。ああそう。森さんもう知ってたん？

水野

ああ、私は知ってました。

森

何回か会ってるよね？ この間も先生のワークショップでいくつか。先生見においでよって、引く張ってきて。

宮崎

ああ、そう？ あれ？ 紹介すればいいのに。

水野

なんかちょっと恥かしいっていうから。

宮崎

いや、そうか、なんだ(冷蔵庫開けて)

水野

つまみがなくなつた。まいつか。

宮崎

あはは(笑)

水野

この前にちよつと4、5人でここで飲んだから。

宮崎

ああ、そうなんです。

水野

その時に買ったの。なくなっちゃった。

森

さつきどっちを買ったの。こうかかっていう話をしたんですけれどね。お茶を買っていきさかビールを買っていきさか逆にならね、つまみを買っていきさか。

水野

それはビールでしょ。

森

ビールでしたか。それは私たちがまだ若かったですね、考えが。

水野

いやいや立派な大人になって。

宮崎

いやいや、まだまだ。

水野

お母さんにはあれかな早いのか。

私は取り合えず、専門に行くから卒業してからぐらいかなと思ってますけど。

宮崎

赤ちゃんの予定はまだないかな。

水野

まだないですね。

宮崎

これから学生になるなら、ちよつと大変だもんね。

森

(ビールを注いで) まあな。じゃあはい、乾杯。結婚おめでとう。

水野

ありがとうございます。もう1周年になりますね。

宮崎

もう1年？

水野

1年です。

宮崎

そうか。ふーん。

水野

早いね。

森

早いかも。

宮崎

聞いてからそんなに経つんだ。

森

マンガみたいに報告しに来ましたよ。あの結婚する時に指輪はめて指見せて「結婚したねん」って。

宮崎

結婚しましたって(笑)

水野

いいな。他、誰か一期生で結婚してる？

宮崎

一期生はしてないですね。

水野

まだか。

森

一期生のマサエに早くせええいつたんだけど。(笑)

水野

来年ぐらいかな？ この前の水野先生の最終講義で集まった時に話しました。

宮崎

でも長いですからね。マサエさんは一回付き合ったらすく長く付き合ってる今もう5年目？ 6年ぐらいですよ。

水野

おお。えー、あの彼？

宮崎

学生時代からの。

森

学生時代からの。

宮崎

そうなんだ。長い。すごいな。私もう5年とかきたらもうちよつと不安だから。

水野

「水すぎた春」っていうのもあつてな。

森

まあでも確かにそうですね。2年とか3年で結婚するか逆に5年6年過ぎてしまつとタイムリグがなくなるとかいいいますもんね。

宮崎

そう。もうねそれが怖くてとりあえず京都になきゃっていうのもあつたし。しようつていて私が。

水野

そうよ。

森

そうなるんなら1、2年したほうがいいっていう意見もありますもんね。3か月とか半年じゃ早いっていう人もいますけど。確かに5年6年タイムリグがなくなるっていう。

そうや。他みんなないのかな？

水野

結婚の話が出ているのは、いないかな？

森

ふーん。どんどん追いついてくるって感じね、君たちが。追いついてくるっていい。

宮崎

そうなのかな。

水野

年をとるとね、自分もう今65過ぎたやんか。どっかで止まるのね。こう身長が伸びるわけじゃないね。まあ体重は増えたりするけれど(笑)

宮崎

気持ちの上でどっかで成長曲線みたいなのでいうとさ、若いとき早いじゃん、ばーって。だんだんだからなっていくやん。20代30代まではこう結構なえ、変化していくやん。でももう過ぎていくとさ、だんだんだからなっていくやん。

水野

ああ、あんなに早いのか。うーん、変化をあまり感じないのね。その50も40も60もあまり変わらへんみたいな。意識だよ、意識よ。でも体が正直だから、けつまついたりさ。息切れたりさ、階段でね。そういうのあるけどね。でも少なくとも精神的なというか、気持ちの上ではあまり変わらないですね。

宮崎

そうなんです。

水野

君らが大学卒業するやんか、22前後でな。で、こうだんだん30ぐらいになってきてる。どんどん近づいてくるわけですよ。意識の距離感。この前短大時代の同窓会があつて、30年ぶりぐらいに会つて。

森

ありましたね。だいたい大きい同窓会ですよ。大学のね。

水野

彼らはもう50になっているんだけど、もう一緒やーみたいな。でも、結婚して離婚してみたいなやつとか。こどもが今度大学に行くとかさ。まあ色々。だいたい近い距離とかさ、意識としては追いついてきた、みたいなね。

宮崎

でも、心臓に毛はどんどん生えていくんじゃないですか？

水野

やっぱり毛が生えるのかな。

森

メンタルとか強くなるんですか？

宮崎

よくね患者さんがね、老いていく一方で私らだめやわっていうから、でも心臓にどんどん毛は生えるっていうんじゃないですか？

水野

それはそうかもそれはあんたらには負けないうわ。おばあちゃんとかが言うの。

宮崎

いや、ただ生きていただけでやつぱりすごいと思うよ。生きるっていいのはそれだけすごい。

水野

そうやって年を重ねていくっていうか。そうだななかたちであれやっぱり平穩に生きる人ってまずないから。波風あるし気持ちも上がったり下がったりとかいろいろなことが嫌でもあるし、だからそういう風雪に耐えていくみたいなね。



ただ生きてるってだけでもやっぱりを重ねて70、80とかになっていくっていうこと自体がすごいなと思うな。まあ願わくばね、素直に年を重ねていければいいなっていう気はするけどね。それはなんか決まっているような気がするわけね。あんたの何十年後は、こうだよって。

◆宮崎 そうなんですか？ 予測できるってことですか？（笑）

◆水野 予測できるというか。なんだろう、ふとした表情を見て、この人ってきつとこんな風な表情をするおばあちゃんになるんだろなって感じたり。あ、分かります。10年20年先の顔が見えるってことありますね。

◆森 えー、（笑）経験ないな。あ、でも逆はありますね。この人きつとこんなこともあったんだろなって、その人の幼少期の顔が見えること。私、今やっってる活動？ 仕事の関係で、起業家とか、どこの社長さんと会って話したりする機会が多いんですけど、ふと笑った時に、あ、この人きつと昔からこういう感じで笑うこともあったんだなって、笑った顔だけ急に幼く見えることありますね。面白いな。

◆水野 ね、なんか重ねた分のいろんな物が顔に出る、みたいなね。森さん、今その活動ってというのは具体的になんなん？ 何をしてるんですか？ 私はず育て支援事業ですね。これから、会社にしていってつもらんでですけど、今半自営で。個人で仕事もらってます。依頼内容は様々ですけど、毎週水曜日だけ、仕事で保育園のお迎えに間に合わないから、代わりに迎えに行こうって欲しいとか。

◆水野 へー、面白いね。ニーズありそうですね。そうですね。いろんなニーズがありますね。先週も朝7時半に滋賀で両親共働きのことも留守番していました。あと、習い事の送迎をしにいったり。友達の結婚式に出たいから、預かって欲しいとかもありますよ。

◆宮崎 へー、朝早いな。でも親御さんは助かるね。あとは、お母さんの職場復帰のサポートや、お母さんに家庭以外で輝ける場所を作ったりしていきたくて思ってます。今からですが。

◆水野 うん。いいね。やっぱ、1期生はしっかりしてるよね。2人ともなんか道を踏み固めてきているね。

◆水野 いや、この年になったからっていうのもありますよ。

◆宮崎 いまいくつやっけ？

◆水野 25です。

◆水野 なるほど、四捨五入して30やね。

◆宮崎 えー、やめてやめて（笑）

◆水野 いや、でも30って声を身近に感じるの、ひとつ新たなステージやな。

◆宮崎 うん、30までが勝負だと思ってます。30までにいろいろ踏み固めたい。

◆森 うん、私も。

◆水野 え、30からが勝負やで。

◆宮崎 だからですよ。30までにしつかり!!

◆水野 うんうんわかるわかる、けど、30歳の新人なんですよ。僕が20代の時にね、30の新人ってウイスキーのコマーシャルがあつてね。三宅一生が言ったのね。「30の新人、基礎が違ふよ」ってねキャッチコピーになったね。30までにペー

◆宮崎 スを決めた彼だから言えたんだね。かっこいいだろ。

◆水野 かつこいいーやっばり、しっかり足固めしよう。やりたいことは、やっっちゃおうって、思います。

◆宮崎 うん、いいね。でもね、去年までは思えなかった。専門学校でもやっばり必要だな、って思った時にこがくって色んな先生がいるじゃないですか。すぐに、岸本先生！ っって助け求めました。（笑）

◆森 こがくの存在は本当に有り難いです。こども芸術学科だけでもね、こんなに幅広い分野の先生が在籍している学科って。すごいですね。ほんとうに、すごいです。福祉の専門の先生がいて、洋画、デザイン、ピアノ、彫刻……みんなが私たちの先生だもんね。他の学科にはないもんね。

◆宮崎 そうそう。幅広いよね。やっぱ、こどもは根っこから。いろんな可能性があつて、いろんな面がある、始まらだしいね。大事だからね。実習に行けるのもいい、自分の中で本当にあの経験は深く残ってるってうか。保育実習の時に、2歳と3歳、4歳って年齢ごとに見るラインと、助けてあげるラインが変わってくる。

◆水野 でも、ふと、あれ？ これってこどもだけじゃなくて大人でも一緒かもって。今は、少し黙って待ってあげようとか。ここからは、やっばり私の意見も言おうとか。

◆宮崎 うんうん、つながるよね。こどもはしっかり世界を作ろうとしてるし、こちらもそのこども達

◆水野

◆水野



の世界を覗きたくなるよね。こいつ、いま何考えてるんだろとか。

◆宮崎 うん、楽しいですよ。あ、そんな発想があつたのかって。

◆水野 こちらが学べるよね、こども達から。1期生はやっばり、一番問われたもんね。

◆宮崎 うーん（笑）ですね。

◆森 かなりぶつかり合いましたね。みんな分かんかった、芸術と保育を同時に習うことにどんな意味があるのか。手探りでしたね。

◆水野 だって、ねえ。われわれも。先生達もこれから形にしていこうって、1期生とは何度も話し合ったね。（笑）

◆森 濃厚でした。分裂した時期もありましたね。こども芸術学科ってなんぞや？ っってところを1から作った感があります。保育士をとる必要性を感じないってやめていった子もいたし……。

◆水野 でもね、この前の僕の最終講義、1期生の参加が1番多かったね。先生達で言ってたんだ、何かある時に集まるってうか、結束が固いののは1期生だね。8割？ 参加だったね。

◆宮崎 はい、ほんとに良かったです。ほんとに数名だけかな？ これなかったのは。私たちが言ってた、1期生だけ人数多いなって。

◆森 そうそう、結束が固い。仲がいい？ のか。なって、ただの暇人かもしれない。（笑）

◆宮崎 はははー（笑） いや、でもね、やっばりこがくでよかった。卒業して年を重ねることにそう思うってうか。

◆水野 いや、持ち上げすぎちゃうか!! それ!!

◆森 なんか大変は大変だったけど、1期生でよかった。こども芸術学科ってなにや？ っって聞いたら、自分なりの答えが出せるのは1期生やからやと思うし。

◆水野 ふーん、そうか。いいですね。長生きしなきゃな。いやいやいや、そんな年じゃないし!

◆宮崎 また、みんな集まりたいね。近況聞きたいな。なんか企画してよ。

◆森 森本先生と一緒に企画考えてますよ。10周年あたりでつかい同窓会しようかなって思ってます。いいね。めっちゃ喋ったね。あつという間に3時間くらいじゃない？ こんな感じでよかったの？ 途中から忘れてた。（笑）

◆水野 ほんまやね。もうこんな時間か、これを編集するの大変やんか。

◆森 大丈夫です。こんな感じで。編集は……頑張ります。楽しみにして下さいね。有難うございました。

## 編集後記

皆様、今年度の「蒼天Vol.13」いかがでしたでしょうか？ 瓜生山同窓会は今年も、蒼天・瓜同公式サイト・瓜同Facebookの三本柱でリアルタイムに活動情報をお届けし、様々な企画で全ての同窓生を繋いでいきたいと思っております。また、同窓会へのご要望や「師弟席」に登場してほしい先生、地元支部で開催してほしい事業などのご意見がありましたら、どんどんお寄せ下さい。一緒に瓜同を創っていきましょう！

瓜生山同窓会会長 菱田太郎



「いいね!」してくださいね♡  
**FB** 始めました。  
<https://www.facebook.com/uridou>

瓜生山同窓会では同窓会をより身近に感じてもらうためまた情報発信の利便性を上げる為、無料SNS「Facebook」でもページを作成しました。上記のURL又はQRコードより開くことができます。また既存の公式サイト「瓜生山同窓会」もご活用ください。

<http://uridou.jp/>

# 110回特報 (特集) 瓜生日記 活動報告

【編】=編集委員 (監) =監修委員  
【執】=執筆者 (協) =協賛委員

|     |           |           |
|-----|-----------|-----------|
| 7月  | 【監】 藤原 隆夫 | 【監】 藤原 隆夫 |
| 8月  | 【監】 藤原 隆夫 | 【監】 藤原 隆夫 |
| 9月  | 【監】 藤原 隆夫 | 【監】 藤原 隆夫 |
| 10月 | 【監】 藤原 隆夫 | 【監】 藤原 隆夫 |
| 11月 | 【監】 藤原 隆夫 | 【監】 藤原 隆夫 |
| 12月 | 【監】 藤原 隆夫 | 【監】 藤原 隆夫 |

### 7月

#### ■瓜生日記 藤原 隆夫

【監】 藤原 隆夫 (監) 藤原 隆夫  
【監】 藤原 隆夫 (監) 藤原 隆夫

藤原 隆夫 藤原 隆夫の活動報告

藤原 隆夫の活動報告



### 8月

#### ■藤原隆夫

【監】 藤原 隆夫 (監) 藤原 隆夫  
【監】 藤原 隆夫 (監) 藤原 隆夫

藤原 隆夫の活動報告

### 9月

#### ■瓜生日記 藤原 隆夫

【監】 藤原 隆夫 (監) 藤原 隆夫  
【監】 藤原 隆夫 (監) 藤原 隆夫

藤原 隆夫の活動報告

### 10月

#### ■瓜生日記 藤原 隆夫

【監】 藤原 隆夫 (監) 藤原 隆夫  
【監】 藤原 隆夫 (監) 藤原 隆夫

藤原 隆夫の活動報告

### 11月

#### ■瓜生日記 藤原 隆夫

【監】 藤原 隆夫 (監) 藤原 隆夫  
【監】 藤原 隆夫 (監) 藤原 隆夫

藤原 隆夫の活動報告

### 12月

#### ■瓜生日記 藤原 隆夫

【監】 藤原 隆夫 (監) 藤原 隆夫  
【監】 藤原 隆夫 (監) 藤原 隆夫

藤原 隆夫の活動報告



「瓜生日記」の活動報告



写真: 藤原隆夫の活動報告の場面

## 藤原隆夫の活動報告

藤原隆夫の活動報告

藤原隆夫の活動報告

## 110回特報 藤原隆夫

藤原隆夫の活動報告

藤原隆夫の活動報告

藤原隆夫の活動報告

藤原隆夫の活動報告

藤原隆夫の活動報告

藤原隆夫の活動報告

## 110回特報 (特集) 瓜生日記 専業誌画

【編】=編集委員 (監) =監修委員  
【執】=執筆者 (協) =協賛委員

|     |           |           |
|-----|-----------|-----------|
| 7月  | 【監】 藤原 隆夫 | 【監】 藤原 隆夫 |
| 8月  | 【監】 藤原 隆夫 | 【監】 藤原 隆夫 |
| 9月  | 【監】 藤原 隆夫 | 【監】 藤原 隆夫 |
| 10月 | 【監】 藤原 隆夫 | 【監】 藤原 隆夫 |
| 11月 | 【監】 藤原 隆夫 | 【監】 藤原 隆夫 |
| 12月 | 【監】 藤原 隆夫 | 【監】 藤原 隆夫 |

藤原隆夫の活動報告

藤原隆夫の活動報告

藤原隆夫の活動報告

藤原隆夫の活動報告



「瓜生日記」の活動報告



写真: 藤原隆夫の活動報告の場面

## 藤原隆夫の活動報告

藤原隆夫の活動報告

藤原隆夫の活動報告

## 110回特報 藤原隆夫

藤原隆夫の活動報告

藤原隆夫の活動報告

藤原隆夫の活動報告

藤原隆夫の活動報告

藤原隆夫の活動報告

藤原隆夫の活動報告

